



朝東っ子だよ!

令和6年3月号 令和6年3月1日発行
川口市立朝日東小学校

【学校教育目標】よく学ぶ子 心の豊かな子 じょうぶな子 児童数 1年生57名 2年生56名 3年生58名 4年生58名 5年生59名 6年生50名 計338名



「思い」をつなぐ・・・

～ 学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ 朝日東小の子 ～



校長 齊藤 敦史

例年になく暖かい日が続き、春の陽気が感じられる日も多くなりました。校庭の木々は芽吹くタイミングを見計らい、色づき始めた蕾が学校の雰囲気をも明るく、あたたかく彩っております。早いもので、令和5年度も残すところあと一ヶ月となりました。

今年度は、ポストコロナを踏まえ、学校行事を従来の形に戻しつつ、教科担任制導入による学力向上や、相談体制整備による誰一人取り残さない安心安全な学校づくりなど新たな取組にも挑戦し、学校の活性化を図ってまいりました。おかげ様で、当初の計画どおり教育活動を進めることができ、子どもたちも一段と逞しく成長しました。これもひとえに、ご家庭や地域の皆様のご理解とご支援のおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。

先月、永らく取りやめていた『校長会食(6年生と給食を食べる会)』を数年ぶりに再開しました。コロナ以降、学校給食については、感染拡大防止のため、全国どこの学校でも、皆で一斉に前を向き、一切の会話もせず、ただ黙々と食べる対応でしたので「会話もあり」の給食は、子どもたちにとって非常に新鮮かつ楽しいひと時だったようです。

会食の中で、私から一人一人へ「6年間の思い出」や「将来の夢」等、数多くの質問をさせていただきました。どの子も本校での6年間の喜び、自分の将来像を具体的に描くことができ、とても感心しました。さらには、現5年生以下の在校生、つまり後輩たちに向けて「先生や親、地域の人たちへの感謝を忘れないで」や「友だちを大切にしたい人になってほしい」、「大丈夫だから、信じて頑張れ!」等々、熱く、心のこもったエールを送る姿を見て、感動とともに大きな成長を感じました。コロナ禍による休校や行事の中止等にも耐え、希望を失わず、諦めずに我慢の時期を乗り越えた現6年生は、芯の強い、逞しい人間に育ったことを確認できました。子どもたちなりに、本当によく頑張った6年間だったのだと、改めて感じた会食会でした。

さて、3月は、リレーや駅伝に例えると『バトンゾーン』です。朝東っ子一人一人が、自分より一つ下の学年に襷(たすき)やバトンを繋ぐ期間です。中でも、特に6年生については、これまで本校の顔として、毎日の登校班長やミニ交流会の責任者等、様々な場面でリーダーの役割を果たしてくれました。とても重く、大変な仕事ばかりだったと思います。しかし、その襷をかけて一年間走りぬいたことで、思いやりや優しさ、責任感や忍耐力が身につく、中学校生活を送るための自覚や力量を獲得できたことと思います。

現5年生は、その襷を受け継ぎ、来月からいよいよ最上級生、6年生へと進級します。最初からうまくできるとは思いませんが、失敗も成功も経験して、今の6年生のように成長してくれることを大いに期待しております。

また、他の学年の子たちも、今年一年を振り返り、成長を確認した上で、自分たちが歩んだ「あしあと」も添えて、一つ下の学年へ襷をつないでほしいと思います。

今年度も、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に深いご理解とあたたかなご支援を頂戴しました。職員一同、心より御礼申し上げます。ポストコロナの一年として、皆様からいただいた激励や惜しみないご協力により、従来の教育活動や朝日東小の「伝統」を戻すことができ、子どもたちは着実に成長を遂げることができました。

いよいよ残りはあと一ヶ月。ご家庭や地域の皆様におかれましても「学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ朝東っ子」の思いを共有していただき、これからも本校の教育活動へのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。